

ひょうご事業改善レビュー好事例事業の横展開及び表彰の実施について

■ 目的

- ◆ 好事例事業の所管課を表彰し、庁内に横展開することにより、事業改善に取り組む職員の意欲を高め、創意工夫を促進し、もって行財政運営の質向上を図る

■ 日時・場所

- ◆ 令和7年10月27日（月） 16:00～16:20

※取材をされる場合は、15:55までにお集まりください

- ◆ 県庁2号館5階 会議室（委員会から所管課へ表彰状の授与）

■ 決定方法

- ◆ フォローアップ型（5頁参照）のうち、改善が達成された事業（27事業）について、各部局の自己評価等に対して、各委員がモニタリングを実施
- ◆ 上記モニタリングをもとに選定した3事業について、下記の委員会評価基準に沿って、**表彰事業を委員会（9月12日実施）にて決定**

■ 委員会評価基準

① 独自の取り組みを試みた点を評価した事業	例：	・ 所管課で独自の取り組みをしているか等 ・ レビュー意見以外にも改善に取り組んだか等
② レビュー意見を反映して成果をあげた事業	例：	・ レビュー意見を踏まえて改善に向けて取り組んだ結果、KPI指標が一定程度改善されているか等

優秀賞

依存症対策総合支援事業

所管課：福祉部 障害福祉課

事業目的・概要

依存症患者及びその家族等に対する包括的な支援を提供し、地域におけるニーズに総合的に対応するため、「ひょうご・こうべ依存症対策センター」等において、依存症に対する相談に応じるとともに、依存症患者及びその家族等を支援する事業を実施する。

R4レビュー意見・改善状況

- ・関係団体と連携して啓発活動等を何回したかということアウトプット指標にしてはどうか
 - ・アウトカム指標は相談件数、アウトプット指標は相談イベント等の回数や実施時間等とすべき。
 - ・アルコール等に初めて触れるのは大学時代と考えられるため、若いうちから正しい知識を学ぶという意味で、大学生等、若者向けに周知することも検討してほしい。
- ・アウトカム指標、アウトプット指標を委員会意見を踏まえ見直した。
- ・広く県民に向けた啓発については、5年度よりSNSを活用した啓発を行うとともに大学と連携した啓発資料の配布や研修の周知を行った。6年度は、5年度 of 取組みを継続するほか新たに高校生向けの予防教育を目的とした啓発資料を作成し、教育委員会と連携して活用に向けて取組んでいる。
- ・自助グループ等団体との連携を強化し、R5年度より団体が行う研修やセミナー、相談会やミーティング、啓発活動に要する経費の補助事業を実施している。

委員会評価ポイント

- ・委員会の意見を踏まえ、アウトカム・アウトプット指標の見直しを行い、相談件数や啓発活動回数など、実態に即した評価指標を設定した点は高く評価できる。
- ・自助グループ等との連携を工夫・強化し、活動補助事業を実施していることは、独自の改善であり、アウトプット指標も目標を大きく上回る実績を上げている。
- ・委員会評価基準①②ともに満たしており、レビューシートの完成度も高く、横展開にふさわしい事業改善となっていると評価できる。

特別賞

スポーツ大会招致事業

所管課：県民生活部 文化スポーツ局 スポーツ振興課

事業目的・概要

競技大会実施団体が主催・主管する国際大会、全国規模の競技大会及びそれに準ずる大会に要する経費を補助し、国際大会、全国規模の大会を招致し県民に質の高い競技を観戦する機会を提供することで、本県のスポーツに関する競技水準の向上、県民のスポーツへの関心を深める。

R4レビュー意見・改善状況

- ・大会会場周辺のスポーツジム等の施設の利用代といった選手のためになる費用等も補助に含める等、補助金の使途に柔軟性を持たせてはどうか。
 - ・スポーツの聖地化も視野に複数年連続での申請を認めてはどうか。
 - ・ワールドマスタースゲームズ関西の開催も控えていることから、スポーツ大会の開催とツーリズムとの連携を図りつつ施策展開すべき。エンタメ要素も重視すべき。
 - ・周辺自治体の支援状況に見劣りがしないよう、金額だけでなく理念等も含め、周辺自治体の状況を常に把握しておくべき。
- ▼
- ・補助対象となる経費の対象を変更したことで、より柔軟かつ、有効に補助金を活用できるようになった。
 - ・上限3年までの継続申請を可能にしたことから、補助金を活用する競技団体が増加した。
 - ・アーバンスポーツなどエンターテインメント性が高く、ツーリズムとの連携が深い大会への活用ができるようになった。

委員会評価ポイント

- ・委員会の意見を踏まえ、補助対象経費の柔軟化や、複数年連続での補助申請の容認、エンタメ性の高い大会への支援など、積極的な改善が図られており、非常に評価できる。
- ・特に、アーバンスポーツなどツーリズムとの親和性が高い大会への支援は、地域の魅力発信にもつながり、スポーツ振興と観光振興の両面で効果が期待される。
- ・また、周辺自治体の支援状況を踏まえた制度設計や、補助金の使途拡充による競技団体の負担軽減など、実効性の高い施策が展開されている。

事業目的・概要

県内における芸術文化活動の向上発展と、心の豊かさを育むために、小学生、高校生、一般を対象に、音楽、演劇などの優れた舞台芸術を身近に鑑賞できる機会や参加・体験できる機会を提供するとともに、県内の舞台芸術団体等の育成、公立文化施設の活性化を図るため、公立文化施設、学校（小学校、高校）を対象に、当事業に登録された芸術文化団体の演目から選択し公演を開催する際の経費の一部を補助する。

R4レビュー意見・改善状況

- ・出演団体が固定的になっているため、一定の競争性を生み、活性化を促進するための仕組みが必要である。
 - ・学校公演について、舞台芸術団体に事前に自分たちの団体の紹介動画を作成してもらい、そこから児童・生徒に見てみたい団体を選んでもらう等の手法を検討してはどうか。
 - ・一般公演のアウトカム指標は入場者数とし、学校公演は生徒がもう一回見たいかというアンケートをとって指標にしてはどうか。
- ▼
- ・登録団体・演目の固定化の解消として、**新規団体を募集し、希望が少ない団体については削除するなど入れ替えを実施。**
 - ・公演選択のための情報の充実、選ばれる演目づくりとして、**各団体の公演PR動画公開・鑑賞者アンケートの実施、結果のフィードバックを実施。**
 - ・委員意見を反映し、成果指標として観客数、満足度（学校公演）を追加。

委員会評価ポイント

- ・委員会の意見を踏まえ、**出演団体の固定化解消に向け、新規団体を募集し、積極的な事業改善が実施**できており、非常に優れた取り組み内容であると考えられる。
- ・また、**PR動画の公開、鑑賞者アンケートの実施**など、選ばれる演目づくりへの工夫がなされており、事業改善への積極的な取り組みが見られる。
- ・成果指標として観客数や満足度を追加し、定量的な評価を可能とした点も、事業の透明性と改善サイクルの確立に資するものである。

(参考)フォローアップ型(29事業一覧)

事業の改善状況等を踏まえ、以下のとおり整理

- ・改善が必要と考えられる事業（事業改善型へ振り替えた事業）：2事業
- ・改善が達成された事業：27事業（各部局の自己評価等に対して委員モニタリングを実施）
- ・委員モニタリングをもとに、レビュー推進部会にて委員会評価対象事業を選定（3事業）

No.	部局名	事業名	対応	No.	部局名	事業名	対応
① より効果的・効率的な事業内容等への見直し（20事業）				(4) 課題解決に向けた事業内容の改善			
(1) ICTの活用				14	産業労働部	商店街買い物アシスト事業	
1	総務部	大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト	事業改善型へ振替え	15	農林水産部	地域楽農生活センター開設支援事業	
2	福祉部	手話普及促進事業		16	農林水産部	田舎暮らし農園施設整備支援事業	
3	保健医療部	訪問看護ステーション教育支援強化事業		17	環境部	特定外来生物被害対策事業	
4	教育委員会	教育副読本配布事業		18	環境部	有害鳥獣捕獲狩猟者育成プロジェクト	
(2) 周知・PR方法の改善・強化				19	まちづくり部	公共交通バリアフリー化促進事業 (鉄道駅舎エレベーター等設置補助)	
5	企画部	ひょうごe-県民登録事業		20	県民生活部	スポーツ大会招致事業	
6	福祉部	依存症対策総合支援事業		② 民間等との協働・民間活力の活用（5事業）			
7	福祉部	国保特定健診・特定保健指導実施率アップ事業		21	産業労働部	カムバックひょうごハローワークの運営	
8	産業労働部	ひょうごオンリーワン企業等認定・支援事業		22	産業労働部	異業種交流活性化支援事業	
9	土木部	兵庫県CGハザードマップ運営事業		23	産業労働部	地場産業海外展開支援事業	
10	教育委員会	教員採用試験・工夫改善事業		24	産業労働部	コワーキングスペース開設支援事業	
(3) 県民ニーズ等の適切な把握を通じた事業内容の充実				25	県民生活部	県民芸術劇場の開催	
11	福祉部	視覚障害者情報取得等充実強化事業	事業改善型へ振替え	③ 県民等の利便性の向上（4事業）			
12	保健医療部	企業のメンタルヘルス等推進事業		26	保健医療部	企業におけるがん検診受診促進事業	
13	保健医療部	働き盛り世代の認知症予防・早期発見・対応促進事業		27	教育委員会	高等学校等就学支援事業	
				28	福祉部	心身障害者扶養共済制度	
				29	農林水産部	ひょうご食品認証事業	